

大阪ガスのお問い合わせ先

大阪支社 大阪市西区千代崎3-2-95 電話大阪06(586)3200 〒550  
 南部支社 堺市住吉橋町2-2-19 電話堺0722(36)1131 〒590  
 北部支社 高槻市藤の里町39-8 電話高槻0726(71)0361 〒569  
 東部支社 東大阪市稲葉2-9-17 電話河内0729(92)1131 〒578  
 兵庫支社 神戸市中央区東川崎町1-8-2 電話神戸078(360)3100 〒550  
 京都支社 京都市中京区烏丸御池梅屋町356 電話京都075(231)8151 〒604  
 奈良支社 奈良市学園北2-4-1 電話奈良0742(44)1111 〒591  
 和歌山支社 和歌山市本町1-5 電話和歌山0734(31)2481 〒640  
 兵庫西支社 姫路市神屋町4-8 電話姫路0792(65)2221 〒670  
 豊岡支社 豊岡市三坂町6-57 電話豊岡0796(23)2221 〒668  
 湖南支社 草津市追分町字荒畑680-1 電話草津0776(62)5311 〒525  
 彦根支社 彦根市大東町12-11 電話彦根0749(22)3131 〒522  
 (長浜営業所) 長浜市南呉服町3-4 電話長浜0749(62)7171 〒526  
 本社・ガスビル  
 サービスセンター 大阪市中央区平野町4-1-2 電話大阪06(202)2221 〒541

大阪ガス株式会社

ガス給湯暖房機

エックスMARK II

44-780型

(室外設置・PS標準設置型)

44-781型

(室内設置型)

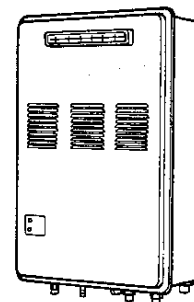
44-782型

(室内設置・前方排気延長型)

44-783型

(室内設置・後方排気延長型)

型式名 YG1901R YG1901RG  
 YG1901RQ YG1901RM



取扱説明書

大阪ガス

ご使用前に必ずこの説明書をよくお読み  
 のうえ、正しくお使いください。なお、  
 ご不明な点があればお買い求めの販売店  
 にお問い合わせください。

## ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのガス給湯暖房機をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保管してください。

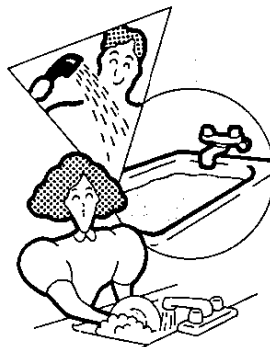
## もくじ

● 特長・機能のご紹介	1
● 必ずお守りください	2・3・4
● 各部のなまえと扱いかた	5
● 使いかた	
● 操作前の準備と確認	6
● お湯の出しかた・止めかた	7
● 暖房の使いかた・止めかた	8・9
● 凍結予防のしかた	10・11
● 点検・お手入れ	12
● 故障かな?と思ったら	13・14
● 寸法図	15
● 仕様	16
● 保管とアフターサービス	17

# 特長・機能のご紹介

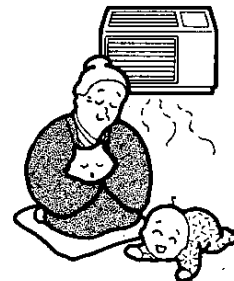
## ● 冬場でもうれしい 安定出湯・安定湯温

比例制御のはたらきにより、水圧変動に対しても安定した湯温が得られます。



## ● 部屋の空気を汚さない クリーン暖房

暖房は、温水を使用しますので、お部屋の空気を汚すことなくクリーンな暖房が得られます。



## ● 給湯も、暖房も 簡単操作で自動運転

給湯は給湯栓を開くだけ、暖房はお部屋の放熱器の運転スイッチを入れるだけの簡単な操作で自動的に運転をはじめます。



# 必ずお守りください

## ●設置・工事される前に

### 使用ガスの確認

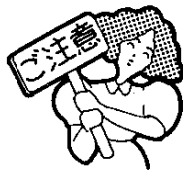
- ①銘板に表示してあるガスの種類およびガスグループ以外では、使用しないでください。
- ②銘板はフロントカバー下部に貼っています。
- ③銘板に表示してあるガスと、お宅のガスと一致していることをご確認ください。

### 使用電源の確認

熱源機はAC100V用です。銘板に表示してある電源と一致しているか確かめてください。

(銘板)

	型式名
[外壁用又は屋外用]	設置
[使用ガスの確認]	ガスの種類およびグループ ガス消費量
[使用電源の確認]	使用電源 消費電力 製造番号 製造業者名



## ●本器の用途について

- 給湯と暖房がおのおの独立してお使いいただけます。これ以外の用途には使用しないでください。

## ●補助用具について

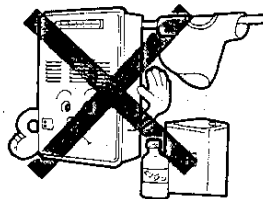
- この熱源機の標準付属品・指定の別売部品以外は使用しないでください。不完全燃焼などの原因になります。

## ●設置・工事について

- この熱源機の据え付けには設置・工事が必要です。お買い上げの販売店、またはもよりの大阪ガスに依頼し、安全な場所に正しく設置してください。

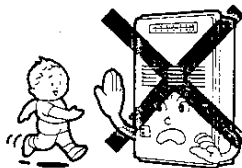
## ●火災予防について

- 熱源機の上や周囲に燃えやすいものを置かないでください。



## ●やけどの注意

- ①使用中、または使用直後しばらくは排気口やその周囲があつくなっていますので、熱源機にはふれないでください。
- ②2箇所を同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量や湯温が変わる場合があります。シャワー使用中は、特に注意してください。
- ③給湯接続部の過圧逃し弁が作動した時は、高温の蒸気が噴出しますので注意してください。



## ●凍結予防について

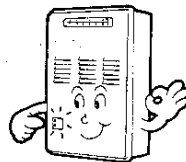
- 冬期は、寒冷地だけでなく、暖かい地方でも急な寒波のため熱源機および配管内の水が凍って、熱源機や配管を破損する場合があります。

★詳しくは10,11ページをお読みください。

## ガス漏れ・やけど・火災・故障などを防ぐために

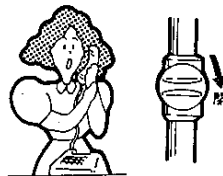
## ●熱源機のランプ確認

- 使用中の点火、使用後の消火が正しく行われているかときどき熱源機のランプ（運転中は赤色点灯、消火時は消灯）を確かめてください。



## ●ガス事故防止

- ①お使いにならないときや、長期間お出かけになるときは、ガス栓を必ず閉めてください。



- ②ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス栓を開け、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社にご連絡ください。
- ③万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり、換気扇その他電気器具に触れたり（スイッチの入、切や電源プラグの抜き差しなど）しないでください。

## 必ずお守りください

### ●長期間使用しない場合

- ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。  
(11ページ参照)

### ●日常の点検・お手入れ

- 日常の点検・お手入れは、必ず行ってください。
- ★詳しくは12ページをお読みください。

### ●たまった水は飲まないで

- 熱源機内に長時間たまっていた水は、飲用または調理に用いないでください。

### ●使用中の異常について

- 使用中にふだんと違った状態になったときや、地震・火災などの場合には①電源プラグを抜く  
②ガス栓を開めるなどの処置をしてください。

### ●排水処理について

- 他に支障のない所へ排水処理をしてください。

### ●暖房使用时

#### ●停電時

- 運転は停止します。再通電すると運転を再開(放熱器により異なります。)しますが、停電中は念のため放熱器の運転スイッチを「切」にしてください。

#### ●断水時

- そのまま使用できます。

#### ●ガスの供給が停止した時

- 運転は停止します。ガスの供給が再開されても運転はしません。いったん放熱器の運転スイッチを「切」にし、ガスの供給が再開された後、放熱器の運転スイッチを入れてください。

### ●給湯使用时

#### ●停電時

- 運転は停止しますが、水はそのまま出ますので、給湯栓を閉めてください。再通電すると給湯栓を開けるだけで使用できます。

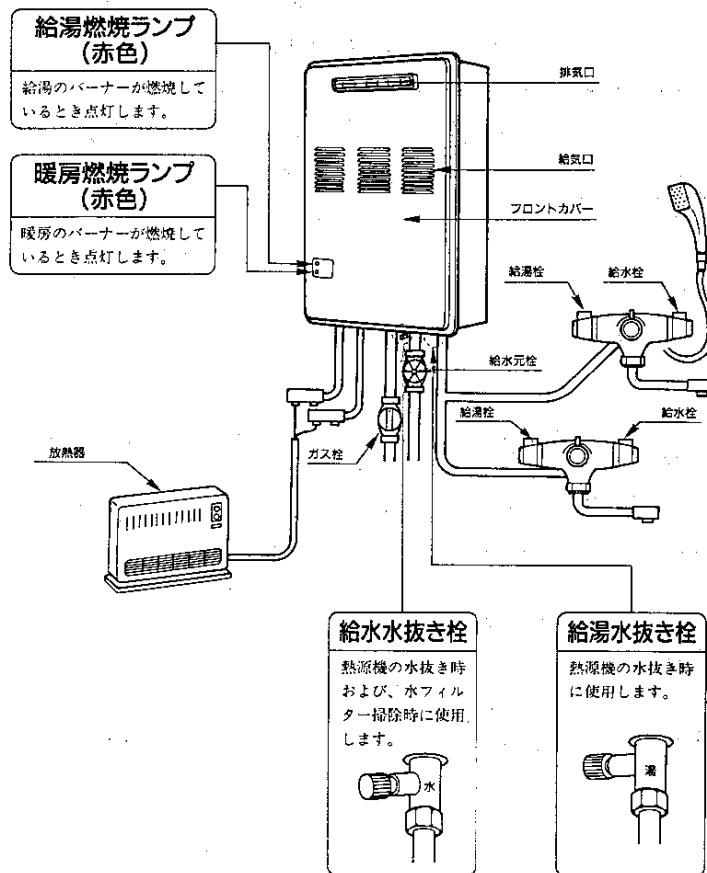
#### ●断水時

- 運転は停止しますが、再通水すると自動的に点火しますので、給湯栓は閉めてください。

#### ●ガスの供給が停止した時

- 運転は停止します。ガスの供給が再開されても運転はしません。ガスの供給が再開されるまで給湯栓を閉めてください。

## 各部のなまえと扱いかた



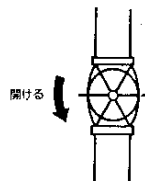
# 使いかた

## 操作前の準備と確認

### ●操作前の準備と確認

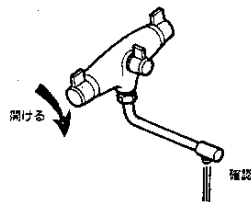
#### 1 給水元栓を全開にする

- 熱源機下部の給水元栓を全開にしてください。



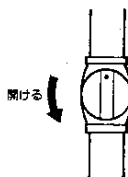
#### 2 給湯栓を開け、水の出ることを確認後、閉める。

- お湯の使用場所の給湯栓を開け、水の出ることを確認してから閉めてください。



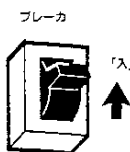
#### 3 ガス栓を全開にする

- 熱源機下部のガス栓を全開にしてください。



#### 4 熱源機用ブレーカを「入」にする

- 屋内の分電盤の熱源機用のブレーカを「入」にしてください。

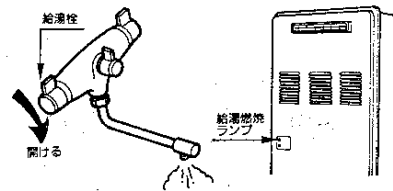


## 給湯の使いかた

### ●お湯の出しかた(点火操作)

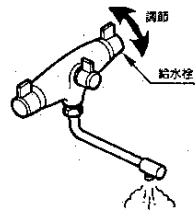
#### 1 給湯栓を開ける

- 点火し、給湯機ランプが**赤色**に点灯します。  
※出湯した直後には少し熱いお湯が出る場合がありますので、出はじめのお湯には手を触れないでください。



#### 2 温度調節する

- 熱源機は80℃の湯が出るよう調節してあります。  
**給湯栓・給水栓**でお好みの温度に調節してください。



- 2箇所使用するときには湯温の変化に気をつけて

2箇所でも同時使用されますと、ぬるくなったり、湯量が少なくなったり、湯温が変化することがあります。シャワー使用中はとくにご注意ください。

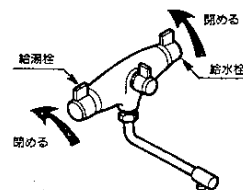


シャワーを使用する前には湯温を確かめてください。

### ●お湯の止めかた(消火操作)

#### 3 給湯栓・給水栓を閉める

- 消火し、給湯機ランプが**消灯**します。  
※ご使用にならないときや、長期間お出かけの際には、ガス栓を閉めてください。



# 暖房の使いかた

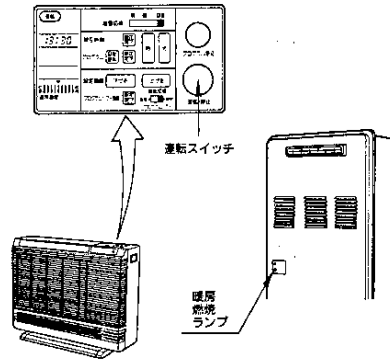
## ●暖房の使いかた

### 1 運転

#### 放熱器の場合

- 運転スイッチを入れる。
- 暖房を開始します。
- 燃焼中は熱源機の暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯します。

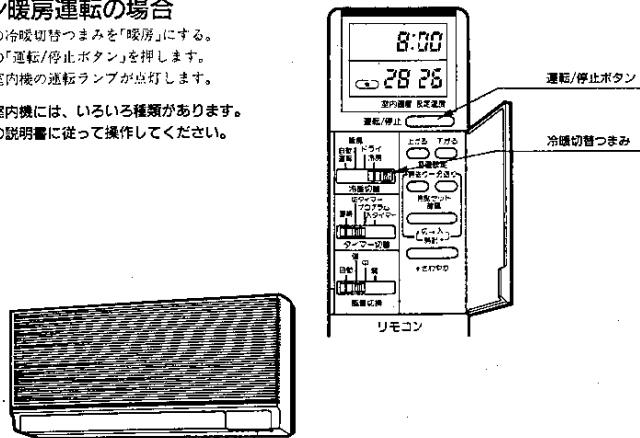
※放熱器には、いろいろ種類があります。それぞれの説明書に従って操作してください。



#### エアコン暖房運転の場合

- ①リモコンの冷暖切替つまみを「暖房」にする。
- ②リモコンの「運転/停止ボタン」を押します。
- エアコン室内機の運転ランプが点灯します。

※エアコン室内機には、いろいろ種類があります。それぞれの説明書に従って操作してください。



# 暖房の使いかた

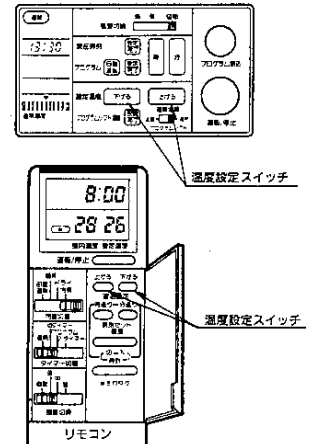
## 2 温度を調節する

### 放熱器の場合

- 放熱器の温度設定スイッチで調節。

### エアコンの場合

- リモコンの温度設定スイッチで調節。



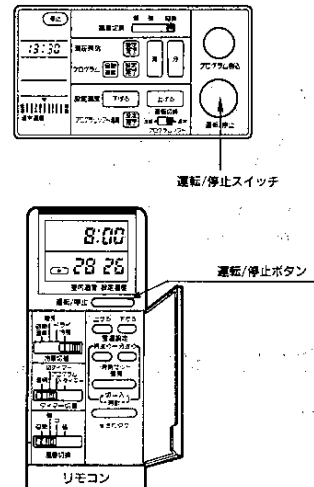
## 3 暖房の止めかた

### 放熱器の場合

- 放熱器の運転スイッチを「切」にする。
- 運転を停止し、放熱器の運転ランプが消灯します。

### エアコンの場合

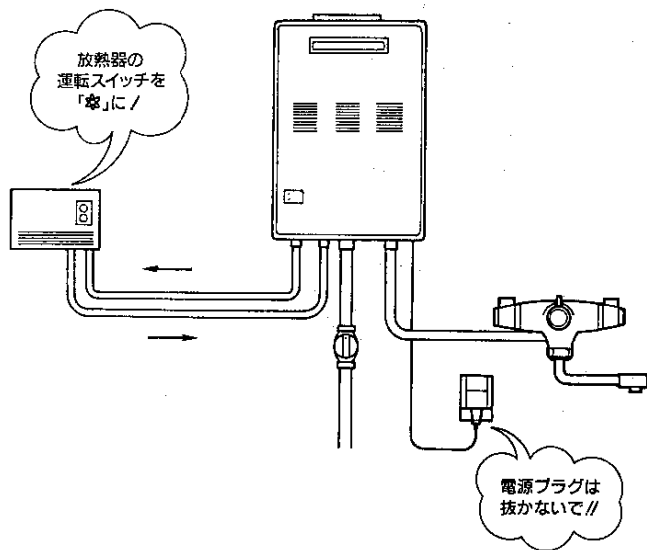
- リモコンの「運転/停止ボタン」を押します。
- 運転を停止し、エアコンの運転ランプが消灯します。



# 凍結予防のしかた

## ●寒波がきたら凍結に注意 (電源プラグは抜かないで)

冬期は急な寒波のために、熱源機および給湯・暖房配管内の水が凍結し、破損する場合があります。熱源機の凍結予防運転のため、電源プラグは抜かないでください。



## ●凍結予防操作は 給湯側と暖房側の両方必要

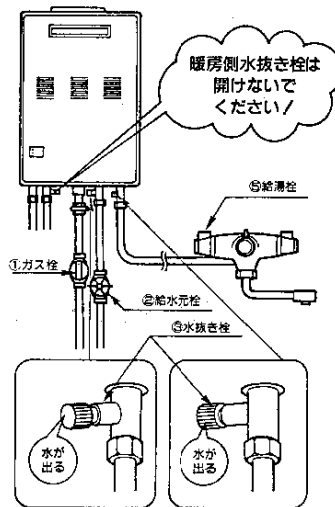
この熱源機は、給湯用と暖房用の2つの熱交換器を内蔵しています。凍結予防操作は給湯側・暖房側の両方行ってください。

### ●注意

凍結したときは、とけるのを待ってから(7ページ)の「お湯の出しかた・止めかた」により ①水の出ること ②水漏れのないこと ③作動に異常のないことを確かめてからご使用してください。熱源機や配管が破損しますと、高額の修理費用がかかる場合があります。(有料)

# 凍結予防のしかた

## ●水抜きをのしかた(給湯側)



## ●凍結予防のしかた(暖房側)

●放熱器の運転スイッチを「凍結予防」に合せる。

※放熱器は、種類によって凍結予防運転の方法が異なるため、それぞれの説明書をお読みください。  
※暖房側の凍結予防には、不凍液も使用しています。不凍液は、適正濃度を保つため、1年に1度点検が必要です。お買い上げの販売店または、大阪ガス支社へ連絡してください。

- 通常は凍結予防ヒーターが作動し凍結予防運転を行います。
- 長期不在の場合や異常低温注意報が出た場合、念のため下記の手順で水抜きをしてください。

- ①ガス栓を開める。
- ②給水元栓を閉める。
- ③水抜き栓を開ける(2本)。
- ④すべての給湯栓を全開にする。

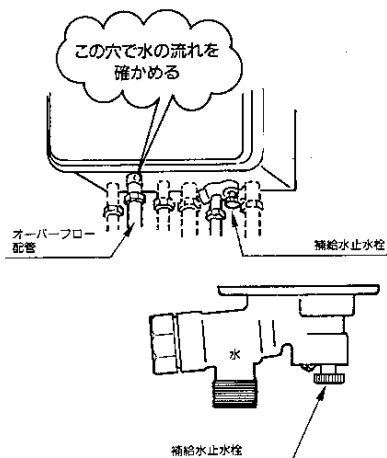
※④水抜き栓と、①給湯栓から水が抜けるのを確かめてください。  
※次にお使いになるまで、このままにしておいてください。

- 再びご使用になるときは、水抜き栓(2本)をしっかり閉めて、(6ページ)の「操作前の準備と確認」の処置を行ってください。

# 点検・お手入れ

## 点検

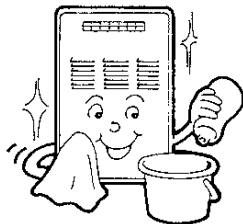
- ① ガス臭くはありませんか？
- ② 水漏れはありませんか？
  - 暖房運転をしていないのにオーバーフロー配管に水が連続して流れて止まらないときは、補給水止水栓を右へいっぱいまわして止水し、サービスを依頼してください。



- ③ 異常音や排気に不快な臭いはありませんか？
- ④ 熱源機のまわりに燃えやすいものはありますか？

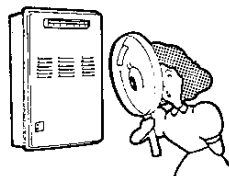
## お手入れ

- 熱源機の表面の汚れは、やわらかい布に台所用中性洗剤をつけてふきとってください。



## 定期点検のおすすめ

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより良くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。
- 本製品は、一般家庭用の製品です。業務用にご使用の場合は器具を正常にお使いいただくために、定期点検(年2回程度)をお受けください。(有償)  
詳しくは、お買い求めの販売店または大阪ガス本社へご相談ください。



## 注意

- 安全に長くご使用いただくために日常の点検、お手入れを必ず行ってください。
- 日常の点検・お手入れの際にはガス栓、給水元栓を閉じて、熱源機が十分冷えてから行ってください。

# 故障かな?と思ったら

## 給湯

燃焼ランプが消えた後も、約7分間は送風機がまわります。これは再使用時の点火をより早くするために異常ではありません。

給湯栓で湯量を調節しますと、水の中の空気が分離して、気ほうとなり、お湯が白くなることがありますが、空気ですので何ら心配はありません。

冬期水温が低くなりますと、湯量が多い場合には、あつい湯が出ないことがあります。このような場合には、湯量を絞ってお使いください。

2ヵ所で同時使用されますと、湯温が変化したり、湯量が少なくなることがあります。特にシャワー使用中の同時使用はやめてください。

給湯栓は絞すぎないでください。給湯栓を絞すぎますと、消火します。

給湯栓(特にシングルレバー式)は急に閉めると、音がすることがあります。これは水撃作用(ウォーターハンマー)によるもので故障ではありません。

## 暖房

室温が高い場合には、暖房運転スイッチを「入」にしても暖房燃焼ランプ(赤色)が点灯しない場合があります。

気温が低いときは、自動的にポンプがまわりますが、凍結を予防するため異常ではありません。

暖房シーズンオフ時に、給湯をお使いになると、温水循環用ポンプが約10秒運転することがありますが、ポンプの固着予防のため異常ではありません。





## 故障かな?と思ったら②

故障かな?と思われたらただちに使用を中止し、一度つぎのことをお調べください。

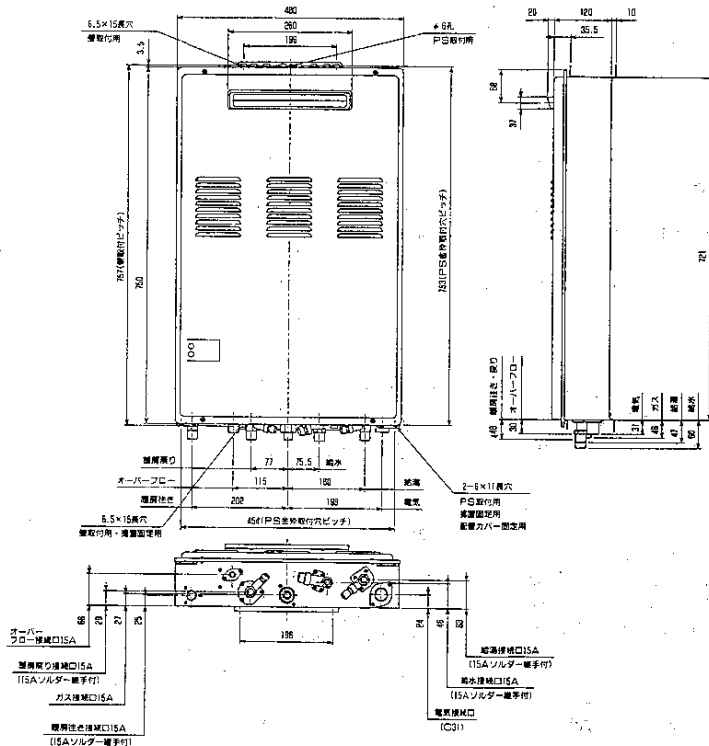
こんなとき (現象)	原因	原因						対処方法	ページ	
		電源プラグの抜き差し	配管の接続不良	水の汚れ	水の圧力不足	水の温度異常	水の流量異常			
電源プラグが外れている	電源	●					●	●	コンセントに差し込む	6
カス粒が閉まっている	電源	●				●	●	●	開ける	6
配管内に空気が残っている	電源	●				●	●	●	点火操作を繰り返す	7-8-9
給水元栓が開いている	水	●							開ける	6
水圧が適切でない 低い	水	●	●	●					点検を依頼する (他に原因がないとき)	—
凍結している	水	●							解冻するまで使用を中止する	10-11
混合水栓の目づまり・サーモ付混合水栓の温度不変	水	●	●	●	●				点検を依頼する	—
給湯性のゆりすぎ	水	●	●	●					開ける	7
能力オーバーしている	水	●							給湯栓を絞る	13
安全装置が作動した	安全装置	●	●	●	●	●	●	●	再操作しても動かないときは点検を依頼する	—
放熱器の故障	放熱器						●	●	点検を依頼する	—
ポンプの故障	ポンプ						●	●	点検を依頼する	—
水フィルターの詰り	フィルター	●	●	●	●				点検を依頼する	—

- このほかにも異常があるときや、おわかりにならないときは、お買い求めの販売店、またはお近くの大阪ガス支社へご連絡ください。
- 修理は絶対にお客さまご自身でなさないでください。不完全な処置は事故のもとになります。

## 寸法図

### 44-780型

(単位:mm)



# 仕様

品名		ガス給湯暖房機			
品番	44-780	44-781	44-782	44-783	
型式名	YG1901R	YG1901RG	YG1901RQ	YG1901RM	
設置方式	屋外設置				
	PS標準設置型	扉内設置型	扉内前方排気延長型	扉内後方排気延長型	
外径寸法	高さ750mm×幅480mm×奥行×120mm				
重量	26kg				
給湯最低作動水量	2.0Q/min				
給湯最低作動水圧	0.15kgf/cm <sup>2</sup>				
給湯湯温制御	比例制御(16~2号)・湯温60°Cまたは80°C一定				
暖房湯水温度制御	約80°Cまたは約80°C、約70°C、約60°Cの3段階				
給湯出湯量	10Q/min				
点火方式	連続放電点火式				
電源	AC100V・60Hz				
消費電力	最大	68W			
	凍結予防動作時	141W			
接続	ガス	15A(R1/2)おねじ			
	給水	15A(R1/2)おねじ			
	給湯	15A(R1/2)おねじ			
	暖房	15A(G1/2)おねじ			
	オーバーフロー	15A(R1/2)おねじ			
電気	CTC31おねじ				
別売品	据置台・配管カバー				

使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量(kcal/h)			標準出力		
	全ガス消費量	給湯	暖房	給湯(Q/min)		暖房(kcal/h)
				25°C上昇	40°C上昇	
都市ガス用13A	35.000	30.000	5.000	(16)	(10)	4.000
LPGガス用	2.92kg/h	2.5kg/h	0.42kg/h	(16)	(10)	4.000

備考・( )内の数値は湯水混合栓で混合した時の流量です。

# 保管とアフターサービス

## ●保管(長期間使用しない場合)

- ガス栓を閉じ、水抜きを行ってください。(11ページ参照)

## ●アフターサービスのお申し込み

### サービスのお申し込み

- サービス(点検・修理)を依頼される前に「故障かな?と思ったら」(13ページ)の項を見て、もう一度ご確認ください。それでも不具合がある場合は、ご自分で修理なさらないで買い求めの販売店、もしくは大阪ガス支社にご連絡ください。
- ご連絡の際には次のことをお知らせください。
  1. 製品名……………ガス給湯暖房機
  2. 大阪ガス商品コード…フロントカバー下部に貼付してあります。

**(N) 44-780 (U)**

大阪ガス株式会社

744 780 09

(BD 242RFA)

3. 現象……………できるだけ詳しく
4. 道順……………できるだけ詳しく

### 転居されるとき

- ガスの種類の異なる地域へ転居される場合  
ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料となります。

### 保証・補修について

- 保証期間中は…  
保証書に記載のように、熱源機の故障について修理いたします。保証書を紛失されますと、保証期間中であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理について  
お買い求めの販売店、またはもよりの大阪ガス支社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。この熱源機の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保期間、製造打切後10年間です。